

## 事業の概況

### ◆平成23年度事業概況

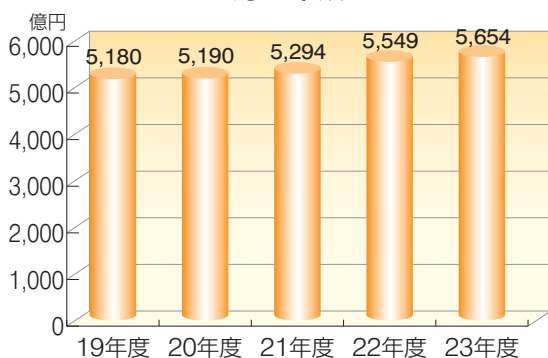
当会の貯金期末残高は、JA・島根県からの受入増加等により前年比103億円増加の5,376億円、平均残高についても、前年比105億円増加の5,654億円となりました。

貸出金は、JAへの貸出金減少等により、期末残高は前年比16億円減少し438億円、平均残高についても、18億円減少し415億円となりました。

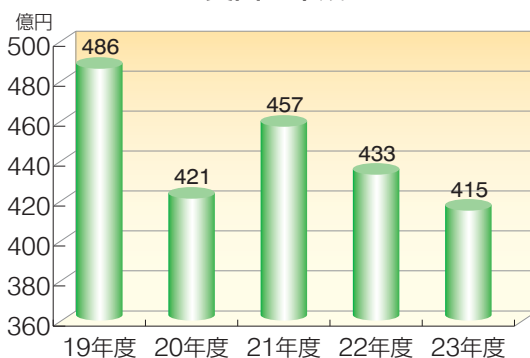
また、預け金の期末残高は、前年比103億円増加し3,573億円、平均残高は、76億円増加し3,875億円、有価証券の期末残高は、前年比43億円増加の1,564億円、平均残高は43億円増加し1,501億円となりました。

損益の状況は、有価証券減損処理が発生したものの、有価証券の売却およびJA等から受け入れた貯金を効率的に運用した結果、経常利益は前年を4億858万円上回る23億7,020万円、当期剰余金は前年を3億7,263万円上回る19億5,678万円となりました。

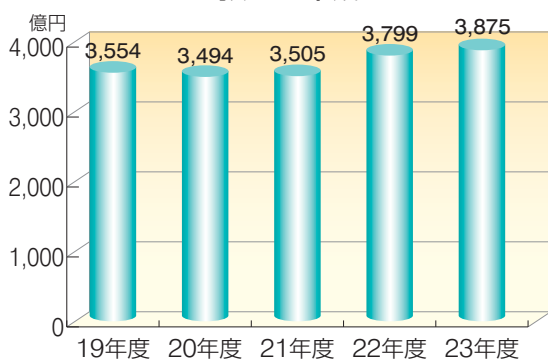
貯金平残



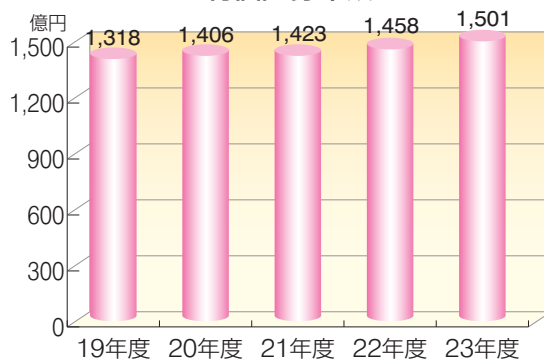
貸出金平残



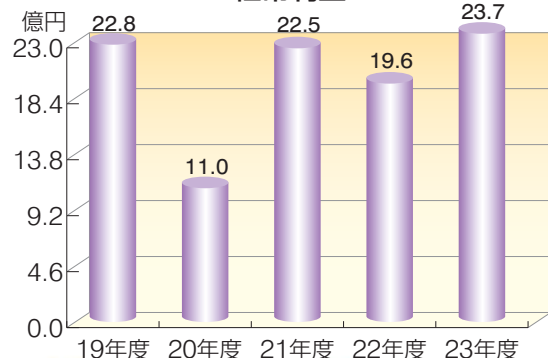
預け金平残



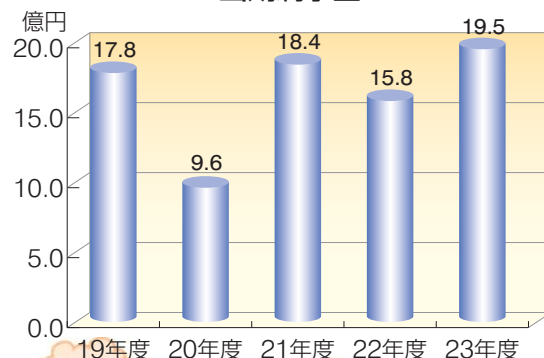
有価証券平残



経常利益



当期剰余金



## ◆トピックス

### ◎各種相談会実施

#### ●年金相談会

JAバンク島根では、組合員・地域の皆さまの年金に関するご相談に応えるため、無料年金相談会を開催しています。平成23年度には、県内で延べ254回の相談会（相談件数2,091件）を開催しました。この相談会は、平日お勤めの方にご相談いただけるように夜間、休日にも開催しています。

今後も、年金受け取りや各種手続等のお手伝い、「ねんきん定期便」の見方など幅広い相談にお応えるために、相談会を継続開催してまいります。

なお、当会では、年金相談会開催の支援、年金研修会開催・トレーニー制度による年金担当者の育成など、JA年金相談の更なる充実に取り組んでいます。

#### ●休日住宅ローン相談会

JAバンク島根では、利用者の皆さまによりお気軽にご相談いただけるよう、「休日住宅ローン相談会」を開催しています。

平成23年度は、5月15日(日)、8月21日(日)、10月16日(日)および1月29日(日)の4回を県内統一開催日とし、新築やお借換のご相談にお応えしました。日曜日の開催で、平日お勤めの方もご家族連れでご来場いただき、延べ714件のご相談をいただきました。

JAバンクは皆さまのご期待にお応えるため、引き続き休日住宅ローン相談会を開催してまいります。

### ◎JAバンク島根のキャンペーン

JAバンク島根では、組合員および地域の皆さまにJAバンクのサービスをお得にご利用いただくために、需要時期にあわせて様々なキャンペーンを実施しました。



定期積金



マイカーローン



年金口座指定



JAカード

これらのキャンペーンでは、島根の特産品が当たる懸賞や金利優遇で利用された皆さまに喜んでいただきました。

JAバンク島根では、これからもタイムリーなサービス提供に努めてまいります。



## ◎島根県JAローンセンターの機能充実

平成23年の自動審査システム導入に続き、平成24年3月に入金案内のためのオートコールシステムを導入しました。これにより、県内JAでの事務作業の効率化を図るとともに、渉外担当者が今まで以上に渉外活動に専念し、組合員・利用者の皆さまにとってより身近な存在となって、充実した金融サービスを提供していきます。



オートコールシステム導入に合わせた、ローンセンター開所式の様子

## ◎JAファンの拡大を目指して

### ●キャッチ・ザ・ハート運動

～店舗美粧化への取り組み～

平成22年度より、JA各店舗が創意工夫し、明るく親しみや安心感のある地域に頼りにされる店舗づくりを目指し、キャッチ・ザ・ハート運動を展開しています。

これからも、全JA各店舗において独自の創意工夫を行い、地域の特徴を活かしながら、ご来店いただいた皆さまの視点に立った店舗美粧化に努め、皆さまの満足度No1の金融機関を目指していきます。



## ◎みんなのよい食プロジェクト

JAグループが消費者と一緒に推進する「みんなの『よい食』プロジェクト」の一環として、中央会等関係団体とともに毎月「お弁当の日」を設け、取り組んでいます。



## ◇連合会として対処し解決すべき重要な課題およびそれへの対応方針

### 1 県域機能の発揮

JAバンク島根の地位をゆるぎないものとするため、JAバンク島根中期戦略を着実に実践するとともに、個別JAの実態に応じた指導・支援を行い、JAバンク島根の本部機能としての役割発揮につとめます。

特に、企画・専門機能および管理・事務等後方機能の県域への集約、ならびにJA職員育成への支援等に取り組み、JAにおける効率的な事業運営体制の構築をサポートします。

また、良質で高度な金融サービスを提供するため、JAバンクとして商品開発力・提案力の強化、利用者基盤の拡充等をJAと一体となってすすめていきます。

### 2 安定的な会員還元

JAバンク島根の経営健全性維持のため、安定的な会員還元と内部留保が課題となっています。そのために、会員はもとより関係団体等にも働きかけ運用資金の確保につとめます。また、適切なリスク管理のもと効率的な資金運用を行い、安定的な利益確保につとめます。

### 3 経営管理体制の高度化

当会の経営健全性や安全性を維持すると同時に安定的な収益構造を確立するため、経営管理体制の高度化が必要です。

そのために、コンプライアンス態勢の整備とその実効性確保につとめるとともに、諸リスクの計量化により収支・リスク・資本のバランスをはかり、統合的なリスク管理を行います。

### 4 農業融資体制の整備

農業メインバンク機能の強化のため、農業融資にかかる推進企画・人材育成・農業法人等大規模農業者への取り組み支援等、県域における農業金融センター機能を発揮します。

また、農業専門金融機関として、JA担い手金融リーダー、全農（TAC）、中央会（農業経営支援事業等）等との連携をはかり、農業担い手に対する金融面からの支援につとめます。

### 5 組織整備への対応

県1JA統合に向け研究会・委員会等へ参画するとともに、統合JAへの当会事業の譲渡にかかる課題について検討をすすめます。

